

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 10 月 27 日作成 第 1.0 版

研究課題名	他治療計画装置の Plan を基にした知識ベース治療計画の検討
研究の対象	2020 年 1 月から 2023 年 1 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センターを受診している前立腺がんと診断された患者さんで VMAT による放射線治療を行った方を対象とします。
研究の目的	当院で今まで使用してきた Pinnacle3（治療計画装置）の前立腺 VMAT Plan を Rapid Plan のモデルに用いることで、今までと同等以上の Plan を簡便に作成することを目的としています。
研究の方法	Pinnacle3 で作成した Plan を Rapid Plan に学習させ、処方線量 79.2Gy のモデルを作成します。Pinnacle3 で作成したものを Eclipse（治療計画装置）で再計算させた Plan と Eclipse の通常の Optimize で作成した Plan、Rapid Plan を用いた Plan をそれぞれ 60 例作成します。各 Plan を DVH（放射線治療において、治療計画の良否を判断するツールの 1 つ）で評価を行います。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2023 年 11 月 21 日(研究機関の長の許可日) ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2023 年 11 月 21 日(研究機関の長の許可日)
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】Eclipse 内にある Plan のデータを用います。
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。
個人情報の管 理	研究対象の方のカルテ ID や氏名等の研究対象者個人を特定することができる情報は用いません。装置からデータを取り出す際は、個人を特定できないよう加工したうえでデータの収集をします。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部 井上 耕介

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

<b>利益相反</b>	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。本研究は資金を要しない研究です。研究資金が必要な場合は研究責任者が負担して行います。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しません。
<b>研究組織 （利用する者の範囲）</b>	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部 （研究責任者）井上 耕介
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報一覧表を作成します。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
<p><b>問合せ先：</b> 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部 （研究責任者・問い合わせ担当者）井上 耕介 電話番号：045 - 261-5656（代表） FAX：045 - 253-5727</p>	